

活用ナビ

①【ねらい】森林の働きについて考える。

② ●  と  は、それぞれ何の様子を表した絵でしょうか。
※題に着目させる。

③ ● 森林がある時とない時の違いを表に書きましょう。
● どの場所のことかわかるように、絵を丸で囲みましょう。
※1名に発表させ、その内容を同じ行に対比させて書く例を示す。
※絵には描かれていないことでも、知っていることは書いてよいことを伝える。

③ ● 発表しましょう。必要なものは書き加えましょう。

④ ● 森林にはどのような働きがあるといえるでしょうか。
※発表で出てきたキーワードをあらかじめ板書して使わせたり、教科書の本文を参考にさせたりする。

⑤ ● 森林の働きについて考えたことをノートに書きましょう。
※森林の働きの大切さとそれを維持することの重要性を記述させるようにしたい。

5年-20

5-2 森林とともに生きる
森林を身近に感じるくらし

P220~P221

名前

5年 組 番

①【ねらい】森林の働きについて考える。

②【基本】  と  は、それぞれ何の様子を表した絵だろうか。

③【基本】 森林がある時とない時の違いを書こう。

 森林があると…

 森林がないと…

- ・雨が降っても雨水をたくわえる。
- ・川がきれい。生き物も育つ。
- ・キャンプを楽しめる。やすらぎの場になる。
- ・動物のすみかになる。
- ・ダムのような働きをする。
- ・木材を出してくれる。
- ・木の実やきのこが育つ。

- ・雨が降ったらくずれてしまう。
- ・川が汚れてしまう。
- ・山が危険な場所になる。
- ・動物がすみることができない。
- ・水をたくわえられない。
- ・木材が少ないので出すことができない。
- ・食料が育たない。

④【ポイント】森林にはどのような働きがあるといえるのだろうか。

(例)

- ・森林があると人々はやすらぎ、他の動物もともに生きていくことができる。
- ・森林によって人々は安心して楽しんでくらすことができる。

⑤森林の働きについて考えたことをノートに書こう。

資料の読解

この2枚の絵は森林の働きを端的に表現している。森林には、「水を貯え、水質を浄化する」「土砂の流出や山崩れを防ぐ」「木材や食べ物（きのこ等）を生産する」「野生動物の生育場所となる」「人にとってやすらぎの場になる」「地球温暖化を防止する」等の働きがある。この2枚の絵を比較することで、子どもたちに森林の働きについて気づかせることができる。

その際、森林の大切さをキーワードで子どもたちに考えさせたい。教科書には、「自然のめぐみ」「安らぎや楽しみ」というキーワードが出ている。子どもたち自身がそのキーワードを考えやすくしてくれる2枚の絵である。

読解の方法

- (1) 2枚の絵の違いを見比べて、森林の働きをワークシートに記入させる。その際に、比較しやすいように対比させるように書かせる。
- (2) 絵で違いがわかってもそれをどのように書いたらよいかわからない子どもに対しては、「川がきれいだ」「川がよごれている」というように、「見えることを書く」とよいことを伝える。また、絵にそのまま表現されていない内容（例「地球の温暖化防止」）も書いてよいことも伝える。
- (3) 書いた内容がどこの場所のことか、教科書の絵に丸で囲むように指示する。この習慣を身に付けておくことにより、他者の発表の際にも資料に印をつけるようになる。